

週報 みえぎよれん

—浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌—

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

好発進！ 2 年目伊勢あさくさ海苔

—三重漁連、第 4 回黒のり共販で—



伊勢あさくさ海苔

「伊勢あさくさ海苔」のロゴマーク

昨年 1 月、桑名の生産者が養殖に成功した県産アサクサノリ。伊勢市の汽水域で自生していた野生のノリ葉体から種を採集し、県水産研究室が選抜育種した種苗を用いて、平成 25 年度から養殖試験を始めた。昨年度は 11 名の生産者が試験に協力したが、今年は倍以上の 26 名が養殖試験に挑んだ。

アサクサノリは、環境変化や病気に弱く、また現在の主流品種であるスサビノリに比べて成長が遅い。そのためアサクサノリの種で採苗し、いざ漁場で育てても、伊勢湾で大勢を占めるスサビノリの繁殖力に押され、収穫可能なサイズに成長するまでに、スサビノリが放出する種がノリ網に付着してしまう。結果、育ったノリを板海苔にして遺伝子検査を行うと、実はスサビノリだった、という例

も少なくない。

実際に今年度も、1 月 30 日に三重漁連のり流通センター（松阪市）で開催された第 4 回共販までに生産を行った 24 名のうち、アサクサノリの形質が確認された海苔は半数以下の 10 名。それほどまでに養殖が難しいとされるアサクサノリだが、同日行われた共販では伊曾島漁協、城南漁協（いずれも桑名市）と伊勢湾漁協今一色支所（伊勢市）から昨年度（88,900 枚）を大きく上回る 183,200 枚が出品され、関係者の注目を浴びた。

入札の結果、伊曾島漁協 等級：浅〇（マル）優（数量：12,000 枚）が 8,510 円（ノリ 100 枚当たり）の最高値をつけ、昨年より 8,000 円を上回る破格の値段を付けた。他のアサクサノリもそれぞれの等級ごとに落札され、アサクサノリ全体の平均単価は 2,618 円で、スサビノリ全体の平均単価（1,078 円）の倍以上となった。



検査員からアサクサノリの説明を聞く仲買業者

この三重県産アサクサノリは種苗の培養育成から採苗まで、県および県漁連が一括して管理しており、特に種苗の他県への流出防止に注力している。同時に、養殖方法の確立を県、業界、漁業者らが連携して研究を進めている。そのため、県漁連はこの純県産アサクサノリを「伊勢あさくさ海苔」として昨年12月に商標登録を行い、今後、三重県産黒ノリの新たな顔として売り込んでいきたい考え。



県漁連が作成した伊勢あさくさ海苔のポスター

海のもしものは118番！！
—海上保安庁が呼びかけ—

海上保安庁は、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号として、警察の110番や消防の119番のように覚えやすい局番なし3桁電話番号「118番」の運用を2000年5月1日から開始しており、次のような場合に通報を呼びかけている。

- 海難人身事故に遭遇した、または目撃した

- 油の排出等を発見した
- 不審船を発見した
- 密航・密輸事犯等の情報を得たなど
「いつ」、「どこで」、「なにがあった」などを簡潔に落ち着いて通報してください！



平成26年度
【水産多面的機能発揮対策事業】
「地域・活動組織等関係者会議」開催

2月17日(火)、松阪の華王殿(松阪市高町502番地)にて、平成26年度水産多面的機能発揮対策事業「地域・活動組織等関係者会議」が開催されます。

原則、一般公開しておりませんが、漁業関係者等で聴講を希望される場合、下記連絡先までお問い合わせください。

三重県水産多面的機能発揮対策協議会
(三重漁連指導部内) TEL059-228-1205

【主な予定】
9日 [水産多面的]関係者会議(松阪)
省エネ機器導入支援事業説明会
(鳥羽)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。